

ビジネスユニット別概況

RGCC

リコーグラフィックコミュニケーションズ



宮尾 康士

リコーグラフィックコミュニケーションズ
ビジネスユニット プレジデント

お客様の“はたらく”に寄り添い、お客様との共創による課題解決と新しい価値の創出で、世界中のお客様のDXと持続可能な社会づくりに貢献していきます。

Message from Business Unit President

印刷現場のデジタル化を支援し、グループの成長を牽引する第2の柱へ

印刷業界においては、より複雑化するお客様の経営課題や環境課題への対応が必要となっています。デジタル印刷はアナログ印刷に比べ、低コスト、省エネルギー、オンデマンド対応など多くの利点を持っており、そのニーズがますます高まっています。RGCCは、高品質で信頼性の高い製品とサービスの投入により、印刷現場のデジタル化を推進します。それにより、自動化・省人化とプロセスの可視化を実現し、お客様の収益力の向上に貢献します。加えて事業成長と社会課題解決の同軸化を図り、SDGsの達成に積極的に取り組みます。

事業の特徴・強み

商用印刷事業

- デジタル印刷関連の製品、印刷現場におけるワークフロー、マーケティング活動のサポートに至るまで、包括的なソリューションおよびサービスの提供を通じて、お客様のDXを支援。同時に、省廃棄物、省エネルギー、脱炭素などお客様の環境負荷の低減に貢献
- カラーカットシートプリンターと高速インクジェットプリンターの双方でグローバルリーダーのポジションにあり、顧客接点力を活かした高付加価値ソリューションの提供が可能

産業印刷事業

- 建材・家具・壁紙・サインディスプレイ・服飾品生地・ラベルパッケージ・3Dなど、多種多様な印刷を可能とする産業用インクジェットヘッド・インク・プリンターを製造・販売
- 自社開発の高品質で信頼性の高いインクジェットヘッドの提供でデジタル化を推進し、短納期・小ロットへの対応を実現。同時にアナログ印刷により発生する大量廃棄、水の大量使用などの環境課題の解決に貢献

事業推進上のリスクと機会

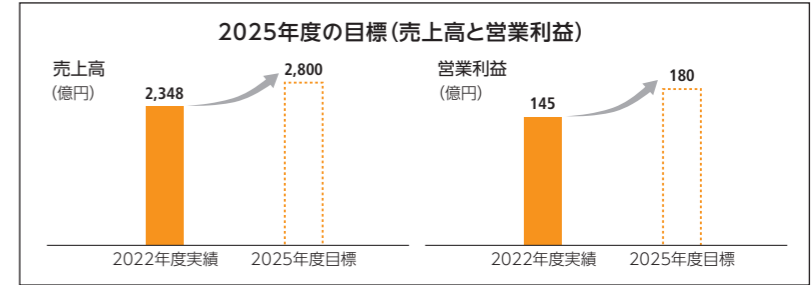
商用・産業印刷ともにデジタル印刷の分野で中長期の成長が見込まれています。商用印刷の市場において、デジタルカラー印刷は、2022年から2030年までCAGR約10%の見込みです(Caslon社 2022年調べ)。欧米ではデジタル印刷への移行が進み、中国や新興国では需要拡大による高成長が見込まれます。業界トップポジションを目指すためには、顧客の経営課題や環境意識の高まりに応えていくことが求められます。

リスク

- 原材料、物流費、電力費の高騰による印刷業界の収益力の悪化と投資意欲の減少
- オンラインメディアの普及による企業内印刷の需要減少

収益機会

- 自動化・省人化、プロセスの可視化など、顕在化するお客様の経営課題の解決に向け、デジタル印刷への移行が加速
- 環境意識の高まりにより、環境負荷の低いデジタル印刷の需要が拡大



中長期の課題と21次中経の戦略

課題

- 加速するデジタル印刷ニーズに対応する新製品、サービスの拡充
- さまざまな顧客課題に対応するための付加価値ソリューションの強化
- 「利益ある成長」に向けた経営基盤の強化

戦略的取り組み

商用印刷事業

高品質で信頼性の高い新製品を投入していくことで、デジタル印刷の推進を加速させていきます。世界中のお客様のデジタル印刷ニーズにお応えることで、カラーカットシートプリンター、高速インクジェットプリンターの領域でのリーダーポジションを確固たるものにします。そして、印刷現場におけるワークフローを強化し、お客様のマーケティング活動をサポートする新たなデジタルサービスの提供により、自動化・省人化、プロセスの可視化を実現します。また、高い成長が見込まれる中国、インドネシア、インド市場などでの販売を強化していきます。

産業印刷事業

インクジェットヘッドビジネスにおいては、サインディスプレイ、服飾品生地、ラベル、パッケージ、3Dなど、さまざまなアプリケーションの市場が拡大しています。技術サポート・ツールなども含めた付加価値の高いソリューションを提供することで、主要市場である中国および他地域への販売拡大を目指します。そして、テキスタイル市場では、衣服に直接プリントできるDTG(Direct to Garment)プリンターのシェア拡大とさらなるアプリケーションの拡充に向け、新製品を投入していきます。

経営基盤の強化

開発、生産、販売・サービスプロセスのデジタル化と効率化により「利益ある成長」を目指します。
 開発：DXによる業務効率改善、製品・開発ポートフォリオの最適化と開発プロセス改革
 生産：拠点の最適化およびデジタルマニュファクチャリングと自動化による生産機能の強化
 販売・サービス：商用印刷に高い専門性を持つ販売・サービス人材の強化とリモートメンテナンスによる保守サービスの効率化

事業を通じた社会課題の解決

アナログ印刷からデジタル印刷への変換でお客様のDXに貢献

2022年11月、リコーの長年のお客様であるHeeter社(米国)で、総額400万ドル以上をかけたDigital Printing Centerがオープンしました。この施設には、RICOH Pro VC70000が3台、RICOH Pro C 9210が2台、そして、開発中のRICOH Pro Z75が導入されています。Heeter社とはかねてよりパートナーシップを締結し、アナログ印刷からデジタル印刷への移行へ向けて一緒に取り組んできました。過去5年間で業務の60%をデジタル化し、その成果として、生産能力が65%向上すると同時に、25%のエネルギーの効率化を実現。過去4年間で80社以上の新規顧客を獲得しました。リコーはこれからもお客様との共創により、世界中のお客様のDXと社会課題の解決に貢献していきます。

